

製品名: IL-17R α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12511**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	IL17RA
別名	IL17RA; IL17R; Interleukin-17 receptor A; IL-17 receptor A; IL-17RA; CDw217; CD antigen CD217
遺伝子 ID	23765.0
SwissProt ID	Q96F46
免疫原	抗血清はヒト IL17RA 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

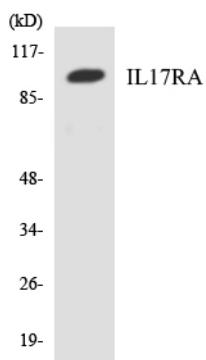
インターロイキン 17A (IL17A) は、活性化 T リンパ球から分泌される炎症性サイトカインです。CD34 陽性造血前駆細胞の好中球へ

の成熟を強力に誘導します。この遺伝子によってコードされる膜貫通タンパク質（インターロイキン 17A 受容体; IL17RA）は、普遍的に存在する I 型膜糖タンパク質であり、インターロイキン 17A に低親和性で結合します。インターロイキン 17A とその受容体は、関節リウマチなどの多くの炎症性疾患や自己免疫疾患において病原性を発揮します。他のサイトカイン受容体と同様に、この受容体は多量体構造をとると考えられます。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、機能: IL17A 受容体。リガンドに低親和性で結合するため、IL17A 誘導シグナル伝達には追加の成分が関与していることが示唆される。、PTM:グリコシル化。、組織特異性:広く発現している。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



IL17RA 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。